



社会福祉法人
北見福祉会

かがやく瞳

じょうぶな体の子ども
ゆたかな心の子ども
のびのび遊ぶ子ども

No. 17

発行日 令和4年5月10日
発行責任者 豊福猛
編集 社会福祉法人
北見福祉会広報委員会
〒090-0835 北見市光西町178-5
TEL 0157-57-5057
FAX 0157-57-4767

根気強くコロナウィルス感染症対策を



北見福祉会理事長 豊福猛

新年度がスタートしました。新入園のお子様は、新しい環境に緊張や不安を感じていたと思います。先生方も子ども達が関心を示しそうな保育環境を整え、「園生活が楽しい」と思えるよう工夫し関わっています。進級したお子様も、保育室や先生が変わったことで、喜びと不安が入り混じった気持ちであったと思います。どのクラスも先生と子ども達で生活のルールを確認したり、関りを深めながらクラスをつくり上げています。

北見福祉会が目指す目標『じょうぶな体の子ども』『ゆたかな心の子ども』『のびのび遊ぶ子ども』に向かって、まずは、子ども達一人一人が自分のやりたい遊びを見つけて、じっくりと遊べることを大切にしていければと思います。

新型コロナウイルス感染症は、2年以上になる今も終息の兆しが見えません。変異ウィルスの拡大で北海道やオホーツク管内でも感染者が増加しています。子どもは大人に比べると感染しにくいと考えられていたのですが、感染者数が増えるにつれ、感染するのは大人も子どもも変わらないのではないかとわれ始められています。目に見えないウィルスとの戦いは、どれだけ対策を講じても不十分で安心できないという気持ちを呼び起こしますが、今、ご家庭でできることは、予防可能な対策を確実に行う以外にありません。子どもの感染予防はなかなか難しく、対応に焦ることもありますが、各こども園からお願いしている対策を含め、根気強く一つずつできることを増やす心構えをお願いいたします。

本年度においても、ご家庭と各こども園の連携を密にして、この困難な状況を乗り越えていきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



よろしくお願いたします

光西認定こども園長 佐藤亮

4月より田巻前園長の後任としてまいりました、佐藤 亮(さとう あきら)です。小学校での勤務経験が長かったため、こども園の園長としてはいろいろと戸惑いながらの毎日ですが、朝から元気いっぱいの子供達の笑顔に癒されています。一日も早く可愛い子供達の顔と名前を覚え、子供達との活動を通し、子供達の健やかな成長を願いながら、職員と力を合わせて頑張りたいと思っています。

皆様には、いろいろとお世話になりますが、どうぞよろしくお願いたします。

各こども園での「こども達の様子」をちょっと紹介します

～ 夕陽ヶ丘 93名 光西 103名 みなみ 102名(4/1 現在) でスタート!～

入園・進級式から約1ヶ月… 朝まだ大好きなお母さんやお父さんから離れるときは寂しくて涙がポロリとこぼれてしまうこともあります。少しずつ、こども園の環境や先生・お友達と過ごすことに慣れてきて、笑顔の日も増えてきました。この日は天気もよくお散歩日和だったので、みんなで近くの公園へ行ってきました。新入園の子どもお友達と手をつないでたくましく散歩に出かけました。

(夕陽ヶ丘認定こども園)



入園、進級した子ども達もこども園生活に少しずつ慣れ、春探しの散歩を楽しんでいます。ふきのとうにつくしんぼ、たんぽぽなど、春を見つけては摘んで嬉しそうに見せてくれました!

そんな中、先日、ひまわり組の子ども達が染めた絞り染めに、みんなの似顔絵を飾り付け、立派な手作りこいのぼりができました。春の心地良い風をうけ元気に空を泳いでいます。

みんなで「こいのぼり」の歌を大合唱していました!

(光西認定こども園)

今年も、ひまわり組の手作りこいのぼりが青い空に上がりました。この日は、前日の強風とは打って変わり、そよ風だったため元気よく泳いでくれませんでした。苦労して絞り染めで作ったこいのぼりが上がると、子ども達から「わー!」「すごーい!」と大歓声が…。

子ども達の声につられ、風も出てきて元気に泳ぎ始めました。自分の描いた顔を探して空を見上げる子ども達、可愛かったです!

(みなみ認定こども園)



北見福祉会では、教育及び保育を一体的に行い、子ども達の健やかな成長を図るために、「目指す子ども像」として、次の三つを目標にしています。

北見福祉会の「目指す子ども像」

じょうぶな体の子ども

◎規律ある生活と遊びを通し、丈夫な心身の育成による、命の大切さを理解する子ども

○家庭との連携により、健康に関わる基本的な生活習慣を定着させるとともに、食育を推進し、健康の素晴らしさの気付きから、自他の命の大切さを意識できる子どもを育てたい。

ゆたかな心の子ども

◎他を思いやる気持ちをそなえ、笑顔でこども園の生活を送る、心豊かな子ども

○心の成長の証として、喜怒哀楽を表情にあらわすとともに、友達との遊びを通し、その楽しさから友達の大切さを理解させ、他への思いやりの心を育てたい。

のびのび遊ぶ子ども

◎何に対しても興味関心を持ち、自分の考えでのびのび遊び、行動する子ども

○行動、活動のルールを理解した自主遊びや体験活動に取り組みさせ、身に付けた探究心や感性、個々の良さを認め伸ばし、意欲的にこども園生活を送る子どもを育てたい。